

先行返還ありうるが、その場合 平和条約は締結すべきでない

日本とロシアとの領土交渉をめぐり、歯舞（はぼまい）諸島と色丹（しこたん）島の返還合意で平和条約を締結するという案が浮上していると報道されています。



小池書記局長が記者会見

これについて、日本共産党の小池晃書記局長は11日の記者会見で、「先行返還はありうるが、その場合も、決して『平和条約』を結んではならない」と強調しました。

小池氏は、歯舞諸島、色丹島の2島返還で合意した場合、ロシアと何らかの条約を結ぶのであれば、友好条約などの中間的な条約にすべきだと強調。「2島返還で平和条約を締結してしまうと、国境線を画定することになり、それ以上

日本共産党

の領土交渉の道が閉ざされる」と指摘しました。「日本共産党は、全千島が、本来、日本に返還されるべき領土（上の地図）であるという立場だが、2島返還で平和条約を締結してしまうと、政府がいう国後（くなしり）、択捉（えとろふ）の返還まで不可能にする道に進んでしまう」と強調しました。

全千島の返還を

日本共産党はこれまで一貫して、全千島の返還を求める立場で交渉を進めるべきであると主張して

ます。歯舞諸島、色丹島については、そもそも千島列島には含まれない北海道の一部であり、平和条約の締結を待たずに早期に返還されるものであると主張してきました。

歯舞・色丹は北海道の一部

しんぶん赤旗

日刊 16
(毎日配達されます)
月3,497円

日曜版 36
(毎週配達されます)
月823円

お申し込みは
お近くの党事務所か
党員までお願いします

折り目

統一候補 米山氏勝利



当選を喜ぶ米山隆一知事候補（中央）と支持者。16日、新潟市の米山選挙事務所（しんぶん赤旗）提供

原発再稼働ノリ流れ大きく

東京電力柏崎刈羽原発の再稼働が最大の争点となった新潟知事選挙（16日投開票）で、市民と共産、自由（旧生活）、社民など野党5党が擁立した米

山隆一氏（49）が自公候補に6万3000票の大差をつけて初当選しました。「柏崎刈羽原発の再稼働は認めない」という県民の明確な審判です。

市民と野党の共闘実る

選挙戦では「自主投票」の民進党とも実質的な共闘が実現。野党支持層、無党派層から保守層にまで支持が広がりました。選挙結果は、野党と市民が本気で力を合わせるなら、「1プラス1」が3にも4にもなり、政府・与党の激しい攻撃を跳ね返して勝利するこ

政治の前途に希望

とができることを示しました。「保守王国」だった新潟県での勝利は、日本全国での野党と市民の共闘の新たな発展を促し、日本の政治の前途に大きな希望をもたらす歴史的勝利です。（裏面もご覧下さい）

日本共産党